

武漢事務所週刊ニュース (2017. 9. 2-2017. 9. 8)

2017年9月5日

シェア自転車 70 万台、容量は 30 万台

2016 年の末から前後に「モバイク」、「OFO」、「ハロー自転車」、「クーキ」、「ニューバイク」など 5 社が武漢に進出し、シェア自転車の投入を開始した。9 月 3 日にまで当市に投入されたシェア自転車は約 70 万台だ。

武漢では、既存の自転車駐車区域が 1 万箇所しかなく、40 万台の自転車しか駐車することができない。

昨日記者会見で、市の交通委員会は 5 社のシェア自転車企業の責任者に告知書を出し武漢市での自転車の供給中止を要求した。

2017年9月8日

メイドイン武漢の知能自動車は 3 年後高速道路を走る

湖北省は、自動車産業の大省として武漢経済技術開発区だけで完成車企業 7 社と 300 社の自動車部品企業を持つので、知能自動車の発展には絶対の環境だ。去年 11 月、工業情報部と省政府が戦略提携協議にサインし、知能自動車とインテリジェント交通応用モデルを武漢経済開発区に導入した。現在開発中の知能自動車小エリアの第 1 期計画面積は 3 平方キロ、試験地区を導入し、関連企業の進出を歓迎する。

東風智能自動車はすでに、自動運転など多項目の機能テストを行っている。現在は、応用シーンの研究開発を急いでおり、2019 年に知能バスの条件付き自動運転を実現、2020 年に知能乗用車の高速道路自動運転を実現、2022 年には知能トラック編隊の無人運転の実現を目指す。